

およ ひと かた すべか かれ そ ちよう と
 凡そ人と語るには、須らく渠をして其の長ずる所を説かしむべ
 われ お えきあ およ ことわ ぶん や え もの お
 し。我に於いて益有り。凡そ事吾が分の已むを得ざる者に於いては、
 まさ これ な さ や う や
 当に之を為して避けざるべし。已むを得べくして已めずば、これ則
 われ こと しよう さい なおつるぎ ごと よ これ もち すなわ
 ち我より事を生ぜん。才は猶剣の如し。善く之を用うれば、則ち
 もつ み まも た よ これ もち すなわ もつ み ころ
 以て身を衛るに足り、善く之を用いざれば、則ち以て身を殺すに
 た 足る。

【大体の意味内容】

ひと はなし ひと よ てん み くわ き だ
 人と話をするときには、その人の良い点を見つけて、詳しく聞き出すのがよろしい。そ
 ひと こうい いだ じっさい ひと よ てん くわ まな と
 の人はこちらに好意を抱くし、また実際にその人の良い点を詳しく学び取ることもできる
 ゆうえき なにごと じぶん ほんぶん
 ので有益である。何事においても、自分の本分として、しなければならぬことは、敢然
 な な さ けっか
 とこれを為して、避けてはいけない。(結果はどうであろうと、それは必ず自分にとって
 ゆういぎ ぎやく よけい ゆうがい
 有意義なこととなる)。逆に、しなくてもよい余計なこと、有害なことを、やめないでし続
 ばあい じぶん おろ あやま だれ なん かたち かなち そな
 けた場合は、自分から愚かな過ちをしでかすものだ。誰にでも何らかの形で必ず備わっ
 さいのう つるぎ ほんらい はたら すなお したが さか
 ている才能というものは、剣のようなものだ。これの本来の働きに素直に従って逆らう
 さよう ばあい み まも
 ことのないように作用させれば、いかなる場合も身を衛ってくれる。しかしせっかくの才能
 おのれ よくぼう あくよう
 を、己の欲望ばかりを満たすために悪用すれば、かえって我が身を殺すことになる。

いま、自分が置かれている状況は、たとえ不本意なものであったとしても、何か必要があつ
 て、「この状況」にあるのだと思います。もちろん、それから逃げた方がよいこともあります。無
 理すぎないことも大事です。

よく考えてみて、この状況から逃げずに乗り越えてゆへことが、自分にとってためになると考えられれば、逃げずに立ち向かいましょう。

たいていの場合、面倒で辛いことから逃げようとしたり、何とかごまかして適当に片付けようとしたりするほびで、苦しく辛い状況が延々と終わることなく続きます。

自分を向上させるチャンスとして、進んで苦しみぬこうとする覚悟で丁寧に対処した方が、結果的に思ったより楽で、早く、うまくゆきます。

だまされたと思って、そういう覚悟を決めて、ガッツを出してみましょう。